

令和六年度 一般入学試験（A日程）国語

徳山看護専門学校

受験番号
氏名
得点

問題一 次の文章を読んで、問いに答えてください。

解答はすべて解答用紙に記入してください。

「ともしび」「山男の歌」などを歌い、長く国民的存在だった男声合唱団「ダークダックス」が、一九七七年に南米公演に出かけた。

ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー。どの会場でも聴衆の心が一つになりピークに達するのは文部省唱歌「故郷（ふるさと）」だった。

特に、ブラジルの首都ブラジリアでの公演は象徴的だった。ブラジル移民が始まったのが一九〇八年。しかし、移民生活への夢と **1** どの落差は大きく、南米各地を転々としたが成功せず、やむなくブラジリアで再起を期す人々。そういう人たちは例外なく **①ヒンコン** であり、例外なく望郷の念が強かった。「故郷」に涙のアンコールの声、声、声。夢にまで見る日本。遠い **②** 群青色の故郷が、歌とともによみがえってきたのだろう。涙、また涙。私たちも貫い泣きをしながら歌ったとメンバーは回想する。

文部省唱歌「故郷」は、一九一四（大正三）年に発表され、全国の小学生が音楽の時間に歌ったが、歌詞は大人の言葉で **2** も高い。だから、一生歌い続けられる歌として、老若男女を問わず今も多くの人々に愛されている。

故郷（ふるさと） 高野辰之作詞 岡野貞一作曲

- 一 兎追いしかの山 小鮎釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷
- 二 如何にいます父母 恙（つつが）なしや友がき 雨に風につけても 思い出ずる故郷
- 三 ころざしをはたして いつの日に帰らん 山はあおき故郷 水は清き故郷

エッセイストで絵本作家の海老名香葉子（えびなかよこ）さんは東京下町育ちだった。

まだ小さいころ、お母さんは毎日夕飯の買い物に「かよちゃん」の手を取って出かけた。向かい合う家々の間のいつもの道。ちよつと恥ずかしがり屋のお母さん。でも **A** すぐに歌い始める。小さな声で。「お手をつないで・・・」それに少し大きいかよちゃんの声が加わる。歌いながら、顔を見合わせる。二人だけの歌。行きは「靴が鳴る」。帰り道は「夕焼小焼」と決まっていた。

一九四五年三月十日。東京大空襲で下町は焼き尽くされた。かよちゃんと一人の兄を残して、両親兄弟は皆犠牲となった。

香葉子さんは書いている。母が亡くなった後、お使いのときのあの二曲を歌うと涙がポロポロ出た。でも、今は、私にはかあちゃんがいたんだ、優しくかったな、という思いで胸が **②アタ**まる。母は、早く娘と別れるかもしれないと思って歌ってくれたのか、そんな気さえする。私にとってこれは **3** の歌なんです。

そして：「ババちゃん」になったかよちゃんは、孫の手を取り買い物に出かけるとつい口ずさんでいる。行きは「靴が鳴る」。帰り道は「夕焼小焼」。その人だけの胸に抱かれて生き続ける「うた」がある。

「靴が鳴る」は一九一九（大正八）年、「夕焼小焼」は一九二三（大正十二）年に発表された。「故郷」と違い、この二曲は「童謡」と言われている。

靴が鳴る 清水かつら作詞 弘田龍太郎作曲

- 一 お手をつないで 野道を行けば みんな可愛い 小鳥になって 唄をうたへば 靴が鳴る 晴れたみ空に 靴が鳴る
 - 二 花をつんでは お頭（つむ）にさせば みんな可愛い うさぎになって はねて踊れば 靴が鳴る 晴れたみ空に 靴が鳴る
- 夕焼小焼 中村雨紅作詞 草川信作曲
- 一 夕焼小焼で 日が暮れて 山のお寺の 鐘がなる お手つないで 皆かえろ 鳥と一緒に 帰りましょう
 - 二 子供が帰った 後からは 円い大きな お月さま 小鳥が夢を 見る頃は 空にはきらきら 金の星

ところで、童謡を知らない人はいないだろう。しかし、その歴史は **③イガイ**に新しい。

二〇一九年、佐々部清監督の映画「この道」が公開された。主人公は、詩人の北原白秋と作曲家の山田耕筰。題名は二人が作詞作曲した童謡「この道」から。一九一八（大正七）年、文学者の鈴木三重吉が童謡童謡雑誌「赤い鳥」を創刊。全国の文学者に呼び掛けた。子供の言葉で、子供の心に沁み込んでいく詩や童話が日本にはまだ無い。必要だ。我が意に賛同する者はこの「赤い鳥」に **②集**え、と。多くの文学者が **③呼**応し、こぞって詩や童話を投稿し始めた。ところが、すぐにその詩に音楽家が旋律を付け始めた。こうして、子供でも分かる **B** 色彩豊かで美しく優しい言葉に旋律が付いた「童謡」が、「唱歌」とは別に次々に誕生し続けた。いわゆる「赤い鳥運動」である。

白秋と耕筰はその指導者的存在だった。白秋が一歳年上。二人は意気投合して、「赤い鳥運動」を方向付ける。白秋は、「童心童謡。子供の心で、子供の言葉で。子供の心に美しく **④ウツ**る言葉だ」。耕筰は、「本（もと）は詩人の言葉だ。音楽家は詩人の言葉の意味を旋律にし、音楽家は言葉の意味を歌うのだ。」

白秋の生家は九州一円に聞こえた名家で豪商だったが、白秋十六歳のときの類焼がもとで破産。負債を残して一家は無念の離郷を余儀なくされた。以来、白秋は遠い故郷をしのび続けた。これほどまでに故郷を詠んだ詩人がいるか、と言われる白秋。涙の帰郷を果たしたときは四十三歳になっていた。

耕筰は幼くして父を亡くした。「まだ十歳になっていなかった私は、未明から夜半近くまで働いた。」そして、苦学した。東京音楽学校に進み音楽家になりたい。だが周囲は許さない。それを、母が進学させてくれた。耕筰少年の母は、がんで亡くなる直前に少年に言った。「私がお前の夢をかなえてあげるからね。遺言で。」

このような、詩人と作曲家の人生への慕情は童謡に投影され、大人でも鑑賞できる深い味わいを **④醸**し出す。また、当時、子供たちの音楽環境の中心はオルガンだったが、そのオルガン演奏が上手ではない先生でも弾きやすいような工夫が伴奏にされていたという。各家庭にレコードが普及し始めたときでもあった。こうして、童謡は、唱歌とは別に瞬く間に全国に広がり根付いていった。

母が歌い子供が歌い継げば美しい日本語の響きは永遠のものになる。それは鈴木三重吉の、そして、北原白秋と山田耕筰の **4** だったのかもしれない。

映画「この道」は雑誌「赤い鳥」創刊 **5** を記念した映画である。そして、今、唱歌と童謡はその **⑤調**べとともに正しく美しい日本語の **⑤ホウ**コとなった。

問1 傍線部①～⑤の漢字には読みを、①～⑤のカタカナは漢字で、それぞれ書いてください。

問2

1	～	5
---	---	---

 に入ると思われる言葉を選んで記号を書き入れてください。

ア	使命感	イ	格調	ウ	一〇〇年	エ	現実	オ	母
---	-----	---	----	---	------	---	----	---	---

問3 傍線部A「すぐに歌い始める。小さな声で。」は倒置法です。語句を強調したり印象付けたりするのに効果的ですが、問題文の後半部分でもう一箇所倒置法が使われています。その部分を書き出してください。

問4 傍線部B「色彩豊か」とは具体的にはどういうことでしょうか。枠内の童謡を例にとって説明してください。

問5 この文章は大きく三つの意味段落に分かれます。第二段落と第三段落の最初の文節を書き出してください。また、第一段落から第三段落まで、それぞれあなたの考えで見出しを付けてください。

問6 童謡「靴が鳴る」の、題名や歌詞にある「靴が鳴る」とはどのような状況を歌っているのでしょうか。実は、いろいろな議論がありますが決まった説がありません。あなたはどう思いますか。自由に発想して書いてください。

問題二 次の文は日本語の品詞の説明です。該当する品詞を選んで記号で答えてください。

- 1 事物の性質や状態などを表す。
- 2 常に他の語のあとについて使われる。主に、話し手の判断を表す。
- 3 生き物、物、事などを表す。
- 4 主として、文と文をつなぐ。
- 5 常に他の語のあとについて使われる。活用しない。語と語の関係を示したり、意味を付け加えたりする。

ア	形容詞	イ	名詞	ウ	接続詞	エ	助動詞	オ	助詞
---	-----	---	----	---	-----	---	-----	---	----

問題三 次の俳句は牡丹（ぼたん）の花を詠んだ高浜虚子の作品です。季節を表す季語を書き出し、その季節を書いてください。

また、この句は色彩的な美しさもさることながら、その美しい花を、心静かにゆつくりと鑑賞している上品な時間が伝わってきます。どの言葉がどんな効果を生み出しているのでしょうか。句の中の言葉を使って説明してください。

白牡丹はくぼたんといふといへども紅はくほのか

問題四 次の短歌は穂村弘ほむらひろしの作品です。情景を読み取り、想像豊かに意識（一語一語にはこだわらず、全体の意味や雰囲気大切に訳す）してください。

終しゆうバスにふたりは眠る紫の（降りますランプ）に取り囲まれて